

# 公益社団法人熊本県林業公社について

## 1 設立経緯

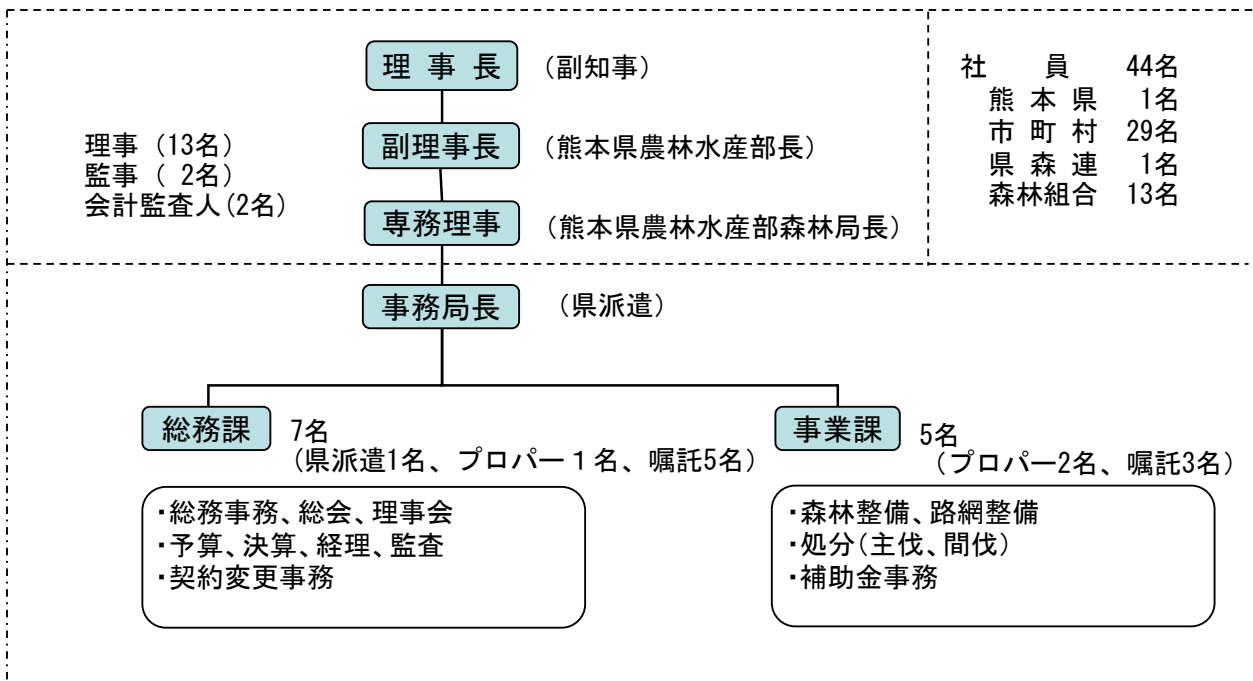
- 昭和36年、泉村五家荘地区での投機的な山林売買や無計画な伐採に対処し、計画的な造林を推進するため、分収林特別措置法に基づき、県主導のもと「社団法人五家荘計画的林業公社」として設立
- 昭和46年、松くい虫被害地の跡地造林等を進めるため、業務範囲を県内一円とする「社団法人熊本県林業公社」に改組
- 昭和60年、分収林特別措置法に基づく森林整備法人に認定
- 平成25年、公益社団法人に移行

※森林整備法人とは、造林又は育林の事業及び分収方式による造林又は育林の促進を行うことを目的として、林野庁長官の承認を受けて知事が認定した法人。森林整備法人は、地方公共団体と同じく、分収造林・育林の募集を行う場合の知事への届出、勧告等の規定が適用されない。

## 2 組織の概要 (平成29年4月1日現在)

- (1) 社員 44名 (熊本県、29市町村、熊本県森林組合連合会、13森林組合)
- (2) 職員 13名 (プロパー3名、県派遣2名、嘱託8名)
- (3) 長期預り金 17,100千円  
(熊本県 7,700千円、市町村 5,200千円、県森林組合連合会 500千円、森林組合 3,700千円)

### [組織機構]



### 3 事業の概要

#### (1) 分収契約の概要

林業公社による森林整備は、土地所有者との間で締結した契約に基づき、林業公社が費用を負担して造林、保育、管理を行い、伐採時に立木の販売収入を土地所有者と分け合う「分収契約」方式により実施している。

分収割合は、当初「林業公社60：土地所有者40」を基準として進めてきたが、平成4年以降の契約は、「70：30」を基準としている。さらに、平成12年度以降は、放置されている皆伐跡地について公益的機能の確保上必要な場合に限定して植栽を行っており、この場合分収割合を「林業公社85：土地所有者15」としている。

林業公社は、公的森林整備機関として、分収方式による森林造成を昭和36年の設立以来積極的に推進し、平成28年度末現在で契約件数1,435件、9,260ヘクタールの分収林を管理している。この間、林業公社事業は山村における雇用機会の創出等地域振興のほか、水源かん養機能等の環境保全にも大きく貢献してきた。

#### (2) 社有林の概要

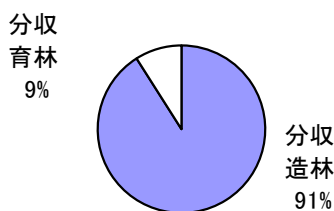
林業公社が管理経営する森林は、全県的に分布しているが、設立の経緯等から八代、球磨、天草地域に多く分布する。

また樹種は、ヒノキ62%、スギ36%、マツその他2%となっており、9齢級（41～45年生）をピークにほとんどが保育や間伐等手入れが必要な森林である。

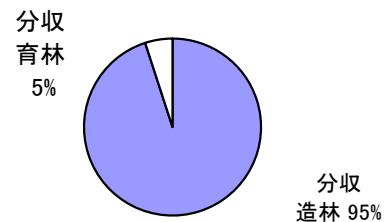
##### ① 社有林の現況

区分	分収造林			分収育林			社有林計		
	団地数 (契約件数)	契約面積	施業面積	団地数 (契約件数)	契約面積	施業面積	団地数 (契約件数)	契約面積	施業面積
面積	733 (1,347)	8,813.98 ha	8,006.74 ha	74 (88)	446.27 ha	435.38 ha	807 (1,435)	9,260.25 ha	8,442.12 ha

団地数 (807団地)



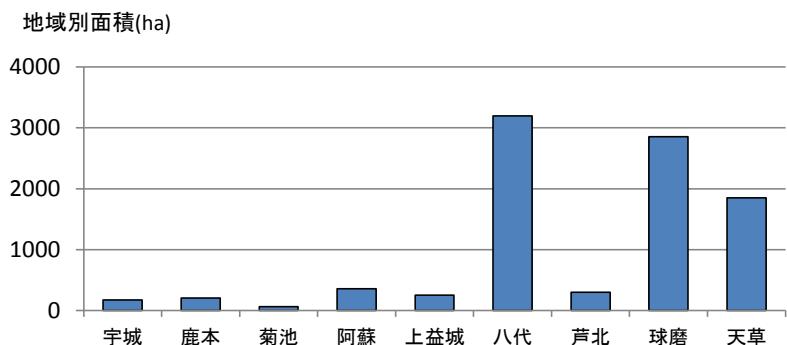
契約面積 (9,260.25ha)



※施業面積は、契約面積の中で、岩石地等を除き実際に植林がなされ森林施業を行っている区域面積

##### ② 地域別社有林面積 (契約面積)

地域名	団地数	面積 (ha)
宇城	28	172.68
鹿本	35	206.72
菊池	7	64.04
阿蘇	66	360.30
上益城	35	256.13
八代	147	3,194.19
芦北	55	302.04
球磨	216	2,854.75
天草	218	1,849.40
計	807	9,260.25



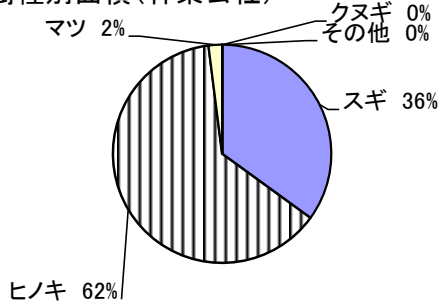
③ 社有林樹種別面積（県内民有林との比較）

単位：ha

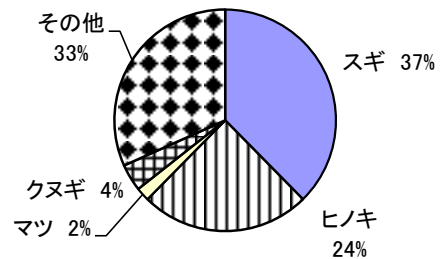
区分	樹種	スギ	ヒノキ	マツ	クヌギ	その他	計	除地外	合計
林業公社	面積	2,985.79	5,282.36	134.67	22.98	16.32	8,442.12	818.13	9,260.25
県内民有林	面積	138,061.98	91,408.68	6,186.97	15,876.67	116,365.19	367,899.49	30,192.30	398,091.79
(うち人工林)	面積	138,061.98	91,408.68	4,092.73	6,294.34	2,211.88	242,069.61		

※ 林業公社の除地外は、作業道敷、植栽困難地等であり、県内民有林の除地外は、未立木地、更新困難地である。

樹種別面積（林業公社）



樹種別面積（県内民有林）



④ 社有林の齢級構成（県内民有林の人工林との比較）

単位：ha

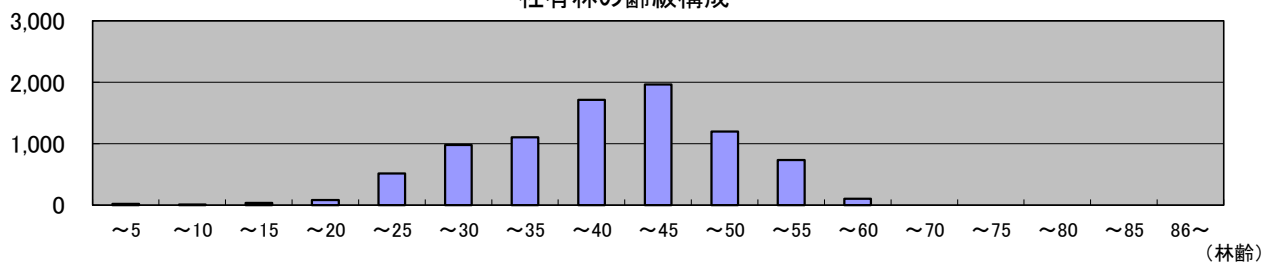
林齢	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45
林業公社	19.15	7.52	35.78	79.39	514.78	977.04	1,101.45	1,713.54	1,960.58
県内民有林	2,374.28	3,957.39	4,050.07	3,771.95	3,601.74	5,458.22	7,397.34	16,900.06	27,636.67

齢級：1齢級は5か年の幅に、林齢を括ったもので、1年生から5年生までを1齢級、6年生から10年生までを2齢級として表示する。

林齢	46～50	51～55	56～60	61～65	66～70	71～75	76～80	81～85	86以上
林業公社	1,196.82	731.72	104.35	-	-	-	-	-	-
県内民有林	39,028.57	40,686.52	42,336.68	22,675.05	9,097.06	4,546.85	2,848.78	1,998.34	3,704.04

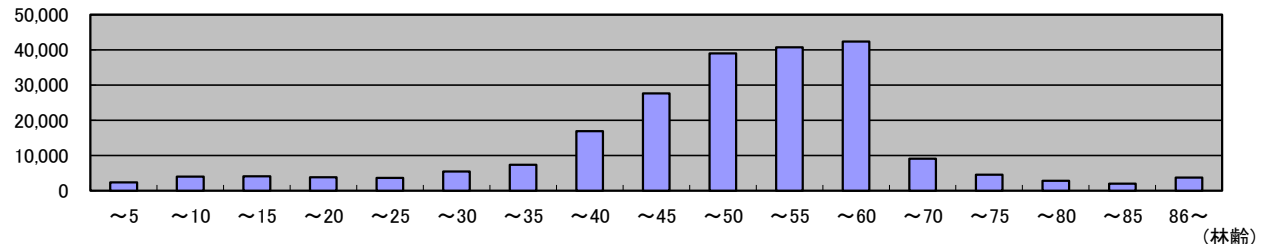
(ha)

社有林の齢級構成



(ha)

県内民有林の人工林齢級構成



注) 上記 ①～④：社有林現況は公社管理データ、県内民有林現況は熊本県民有林資源調査書による。（平成29年4月1日現在）

# 林業公社社有林分布図（平成29年4月1日）

